

平成28年度

さいたま市図書館評価 報告書  
(平成27年度事業対象)

平成28年11月

さいたま市立中央図書館

# 目 次

1	評価の目的と経緯	1
2	評価の方法	2
3	評価の結果	3
4	意見聴取	6
5	さいたま市図書館評価票（平成27年度）	
	【目標】①図書館利用の普及とPR及び情報発信の強化	8
	【目標】②幅広く計画的な資料の収集・保存	9
	【目標】③地域の歴史と文化の保存	10
	【目標】④ICT（情報通信技術）を活用したサービスの充実	11
	【目標】⑤文化事業の開催	12
	【目標】⑥あらゆる世代に向けたサービスの充実	13
	【目標】⑦レファレンスサービスの充実	14
	【目標】⑧地域の課題解決	15
	【目標】⑨生活支援サービスの展開	16
	【目標】⑩バリアフリーサービスの充実	17
	【目標】⑪多文化サービスの充実	18
	【目標】⑫子ども読書活動への支援及び学校図書館との連携	19
	【目標】⑬図書館評価と市民意識の反映	20
	【目標】⑭市民との協働	21
	【目標】⑮関連機関（公共機関・民間機関・NPO）との連携	22
	【目標】⑯地域の特色を生かした運営	23
	【目標】⑰親しみやすい図書館づくり	24
	【目標】⑱職員の資質・能力の向上	25
	【目標】⑲専門的職員の配置	26
	【目標】⑳施設・設備の充実	27
	【目標】㉑持続的で安定した図書館の運営	28
	【目標】㉒危機管理体制の強化	29
	参考資料	
	図書館法・図書館の設置及び運営上の望ましい基準	30
	さいたま市図書館の運営状況に関する評価実施要項	31
	さいたま市図書館ビジョン	36

# 1 評価の目的と経緯

## (1) 評価の目的

各年度の図書館サービス、その他図書館の運営状況について、目標及び事業の達成状況の点検・評価を行い、図書館サービスの向上を図るとともに、評価の結果を積極的に公表します。

## (2) 評価の経緯

図書館法第7条の3において、「図書館は、当該図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない」とされています。

また、「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」においても、市町村立図書館はサービスの「達成状況等に関し自ら点検及び評価を行うよう努めなければならない」とされています。

平成 21 年度	図書館評価について検討を開始
平成 22 年度	平成 21 年度の実績について評価を試行
平成 23 年度	平成 22 年度の実績について評価を実施
平成 24 年度	平成 23 年度の実績について評価を実施 「さいたま市図書館の運営状況に関する評価実施要項」を制定
	平成 25 年 3 月に策定した「さいたま市図書館ビジョン」の 22 の基本方針のうち 16 項目を平成 25 年度の評価目標として指標及び目標値を設定
平成 25 年度	平成 24 年度の実績について評価を実施 「さいたま市図書館ビジョン」の 22 の基本方針のうち 20 項目を平成 26 年度の評価目標として指標及び目標値を設定
平成 26 年度	平成 25 年度の実績について評価を実施 「さいたま市図書館ビジョン」の 22 の基本方針を評価目標として指標及び目標値を設定
平成 27 年度	平成 26 年度の実績について評価を実施 「さいたま市図書館ビジョン」の 22 の基本方針を

平成 28 年度 評価目標として指標及び目標値を設定  
平成 27 年度の実績について評価を実施  
「さいたま市図書館ビジョン」に基づく平成 29 年度  
の取組について評価の指標及び目標値を検討中

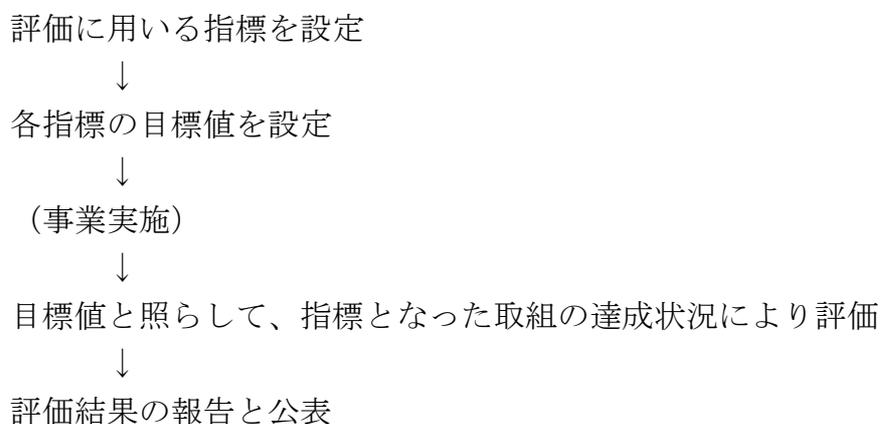
## 2 評価の方法

「さいたま市図書館の運営状況に関する評価実施要項」に基づき、毎年度、図書館の運営状況について評価を行います。

さいたま市図書館では、平成 25 年 3 月に「さいたま市図書館ビジョン」を策定し、地域の知の拠点としての役割を果たしていくため、4 つの目標と 22 の基本方針を定めました。評価にあたっては、この基本方針を目標に設定し、目標ごとに指標及び目標値を定め、達成状況について評価を行います。  
(p 36～参照)

評価の結果をホームページ等を活用して市民に公表します。また、この結果に基づき図書館運営の改善に努めます。

### (1) 評価の流れ



### (2) 指標・目標値の設定

平成 27 年度の事業を対象とする評価は「さいたま市図書館ビジョンに基づく取組内容（平成 27 年度）」により、一部の重複を含み 55 の指標と目標値を設定しています。

### (3) 評価基準

評価を行うにあたり、各取組を明確に評価できるよう、以下の評価基準を定めています。

#### ア 指標の評価基準

指標の評価は、指標ごとに設定した目標値に対する事業の達成状況を目標達成率として、a～dの4段階で評価するものです。

また、a～dの各段階に対応した評点を与えます。

指標別評価	評価基準	目標達成率	評点
a	目標値を達成できた	目標値の100%以上	3
b	目標値をほぼ達成できた	目標値の80%以上100%未満	2
c	目標値をあまり達成できなかった	目標値の50%以上80%未満	1
d	目標値を達成できなかった	目標値の50%未満	0

#### イ 目標の評価基準

各目標に設定された指標の評点の平均点により、A～Dの4段階で総合評価を行います。

総合評価	評価基準	評点の平均
A	目標を達成できた	2.7以上
B	目標をほぼ達成できた	2.0以上2.7未満
C	目標をあまり達成できなかった	1.0以上2.0未満
D	目標を達成できなかった	1.0未満

## 3 評価の結果

### (1) 評価結果の一覧

平成27年度の評価結果は、次の表のとおりです。

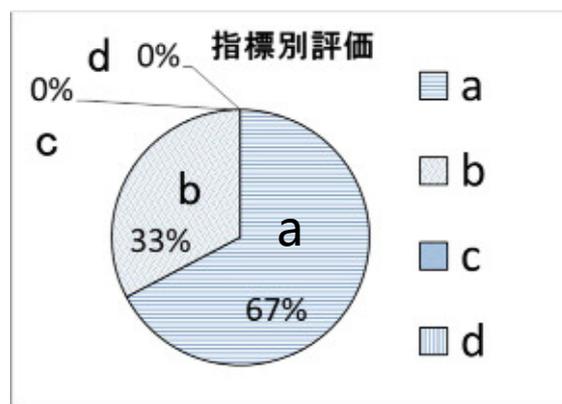
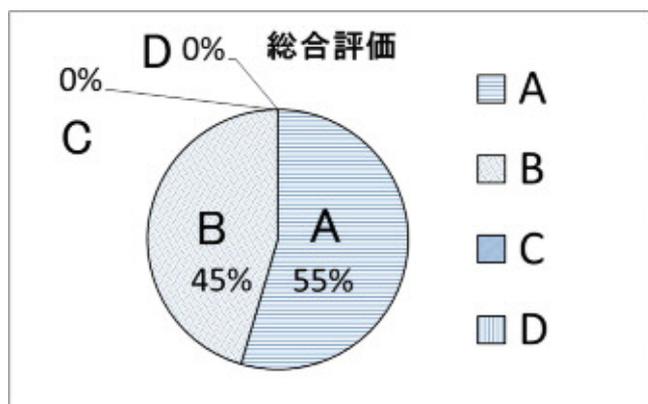
平成 27 年度評価結果

基本方針		総合評価	指標別評価
知的好奇心に 応える図書館	1	図書館利用の普及とPR及び情報発信の強化	B 新規登録者数=b 貸出総数=b 来館者数=b 貸出利用人数=b 市民一人当たり貸出数=b メールマガジン配信件数=a
	2	幅広く計画的な資料の収集・保存	B 資料回転率=b 雑誌タイトル数=a 新聞タイトル数=b 所蔵タイトル数(図書)=a 蔵書冊数(市民一人当たり)=b 寄贈資料受入点数=b
	3	地域の歴史と文化の保存	B 地域・行政資料の蔵書数=b 地域資料のデジタル化=a
	4	ICT(情報通信技術)を活用したサービスの充実	B ホームページアクセス数=a インターネット端末延利用人数=b
	5	文化事業の開催	B 講座等の実施回数=b 映画会開催回数=b 展示会の開催回数=a
生きる力を 支える図書館	6	あらゆる世代に向けたサービスの充実	A テーマ資料展示の実施回数=a 各世代向けの本の紹介資料作成=a
	7	レファレンスサービスの充実	B レファレンス受付件数=b レファレンス事例の公開件数(年間)=b パスファインダー(調べ方案内)作成数=a 職員レファレンス研修の開催回数=a
	8	地域の課題解決	A 行政支援サービスの実施=a
	9	生活支援サービスの展開	A 日常生活での課題解決に関わる分野の情報提供への取組=a
	10	バリアフリーサービスの充実	B 音訳資料・点訳資料貸出数=b 対面朗読回数、時間数=a 宅配サービスの貸出数=a
	11	多文化サービスの充実	B 外国語資料の受入点数=b
	12	子ども読書活動への支援及び学校図書館との連携	A 小学生の不読者の割合=a 中学生の不読者の割合=a 子ども向け行事開催数=a 読み聞かせや本に関する講座・講演会の実施=a 子ども向けの資料案内の作成=a 学校訪問・招待の実施回数=a
市民ととも 歩む図書館	13	図書館評価と市民意識の反映	A 図書館評価の実施と公表=a アンケートによる満足度調査の実施と公表=a
	14	市民との協働	B ボランティアとの協働事業数=b ボランティアとの協働事業延実施回数=a
	15	関連機関(公共機関・民間機関・NPO)との連携	A 連携事業実施機関数=a 職場体験の受入件数=a
	16	地域の特色を生かした運営	A 地域の特色に関連した資料を活用した情報発信=a
誰もが 使える図書館	17	親しみやすい図書館づくり	A 「さいたま市図書館の利用に関するアンケート」における満足度=a
	18	職員の資質・能力の向上	B 内部研修の実施回数(図書館で行われる研修全て・市主催の研修は外部とする)=a 外部研修の派遣件数(図書館以外の全て・市主催の研修を含む)=b
	19	専門的職員の配置	A 専門性の向上につながる研修の受講=a 専門性を生かした適切な資料提供と紹介の実施=a
	20	施設・設備の充実	A 施設・設備の計画的な改修及びバリアフリー化の推進=a 美園図書館の開館準備=a
	21	持続的で安定した図書館の運営	A 業務マニュアルの整備・見直し=a 図書館の管理運営に関わる民間力活用の検討=a 新たな財源確保や経費節減事業の実施=a
	22	危機管理体制の強化	A 職員の危機管理意識を高める取組=a

評価基準別にみると、以下のとおりとなります。

評価基準	A	B	C	D	合計
総合評価	12	10	0	0	22

評価基準	a	b	c	d	合計
指標別評価	37	18	0	0	55



## (2) 評価

### ア 平成 27 年度さいたま市図書館の状況

- ・大宮西部図書館 平成 27 年 10 月 19 日～11 月 16 日 空調工事のため休館
- ・大宮西部図書館 平成 28 年 3 月 14 日～3 月 23 日 外壁工事のため休館
- ・美園図書館 平成 28 年 1 月 4 日 開館
- ・全館 平成 28 年 2 月 22 日～3 月 2 日コンピュータシステム更新のため休館。図書館ホームページをリニューアル。また、電子書籍サービスを開始。
- ・「さいたま市子ども読書活動推進計画（第三次）」、平成 28 年 3 月に策定

### イ 評価の説明

総合評価及び指標別評価の結果は、ともに「達成できた」又は「ほぼ達成できた」のどちらかとなり、「達成できなかった」及び「あまり達成できなかった」はありませんでした。また、総合評価及び

指標別評価のいずれも「達成できた」が過半数を超えています。

「さいたま市図書館ビジョン」で掲げている4つの目標ごとに達成状況を見ると、「知的好奇心に応える図書館」は、5つの目標全てで総合評価がBとなりました。総合評価でAがなかったものの、貸出総数をはじめ14の指標で平成26年度の実績を上回りました。

「生きる力を支える図書館」は、総合評価でAが4つ、Bが3つとなりました。目標⑫の指標である「小学生の不読者の割合」「中学生の不読者の割合」は、目標値を大きく上回り、子どもが読書に親しめる環境づくりを進めてきた成果がうかがえます。

「市民とともに歩む図書館」はAが3つ、Bが1つとなりました。Bとなった目標⑭の指標である「ボランティアとの協働事業数」は、目標にはわずかに届きませんでした。平成26年度の実績は上回る結果となりました。

「誰もが安心して使える図書館」は、Aが5つ、Bが1つでした。目標⑰の指標「さいたま市図書館の利用に関するアンケート」における満足度は、今回新たに採用した指標ですが、高い評価をいただき、目標値を上回ることができました。

## 4 意見聴取

「さいたま市図書館の運営状況に関する評価実施要項」第4条に基づき、平成28年度第1回図書館協議会（7月25日開催）において、評価票（平成27年度）の報告及び意見聴取を行いました。8月25日までの意見聴取期間を含めて、協議会委員より寄せられた主な意見は次のとおりです。

- ・ 知的書評合戦（ビブリオバトル）について、参加型のイベントだが、参加できる人数が制限されているのか。聴衆として参加してみたい。
- ・ バトルという名称なので、トーナメント方式にするなど大きい仕掛けが必要なのでは。PR効果と狙いが浸透しやすいのではないか。
- ・ ビブリオバトルは広げるよりは、深めていくことに価値があるのでは。
- ・ メールマガジンでは、さいたま市の取組みの方向性を、より明確にさせた方がよい。
- ・ レファレンスは、25館が連携し、専門知識を共有できるような体制があるとよい。また、メールマガジンで、レファレンスをさらにPRし、広めていくとよい。
- ・ モニタリングは、図書館に来ていない人にも聞いた方がよい。

- ・ レファレンスとはどういうことをしてくれるのかを伝えることが急務である。中高生に読書を普及・浸透させるのであれば、学校と連携して、レファレンスをしてくれるということを学校経由で告知する体制をとるのが大事なのではないか。
- ・ 例えば窓口いきいて絵本を一冊借りた場合、「このシリーズはこんなにある」と言い添えるのもレファレンスサービスの一環なのではないか。中高年が絵本を読む機会が多くなってきている。様々な世代のためにも言い添えるサービスをするとういと思う。
- ・ 図書館には、ぶらぶらと書棚を探索する楽しみもあり、それがあってこそ窓口でのやりとりもできる。レファレンスは重要だが、図書館は総合的なもの。やれることをどんどん告知してほしい。
- ・ レファレンスを評価基準に入れて、普及させたいということなのであれば、まずは「レファレンス」という英語をわかりやすい日本語に変えて、広く間口をあけて欲しい。
- ・ 気楽に相談できるような、窓口や雰囲気づくりも必要だと思う。
- ・ レファレンスを知らないという人が圧倒的多数なのではないか。図書館側の対応と、利用する側の意識改革とを、総合的にやっていくべきである。
- ・ 図書館に来る方に対して、いろいろなことが拡充・整備されているが、利用者を図書館に導くための働きかけが課題とを感じる。
- ・ 地域の特色を生かした運営には身近な公共機関を利用するのはどうか。
- ・ 図書館によって、施設・設備の充実に差があるので、考えてほしい。
- ・ 探せば探すほど連携事業の相手はいると思うので、工夫して探していけばよいと思う。
- ・ 「あらゆる世代に向けたサービスの充実」と「生活支援サービスの展開」に関して、高齢者福祉の観点から、当該の情報・資料など、高齢者の側に立った提供に資する取り組みを切に願います。また、医療福祉の観点からも、高齢者の医療に関する資料・情報の取り扱いに、充分な関心と配慮をお願いします。

さいたま市図書館評価票（平成27年度）

【目標】①	図書館利用の普及とPR及び情報発信の強化	【総合評価】	B
<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館の利用促進のために、広報媒体等を効果的に活用し、PRに努めます。</li> <li>・各図書館の広報担当者が発信する情報を一元化し、ホームページやメールマガジン等を活用して図書館サービスについての情報発信に努めます。</li> <li>・図書館のサービスや催し物の広報活動を積極的に行い、記者提供資料などを通じて、図書館を利用したことのない人にも図書館の情報が届くようにします。</li> <li>・図書館利用を普及するため、図書館見学会やマナーアップキャンペーン等を行います。</li> </ul>			

指 標	平成27年度の目標値	平成27年度の実績	指標別評価
新規登録者数	36,900人	34,818人	b
貸出総数	11,024,000点	10,050,318点	b
来館者数	7,181,000人	7,013,247人	b
貸出利用人数	2,841,000人	2,840,473人	b
市民一人当たり貸出数	8.8点以上	7.9点	b
メールマガジン配信件数	10,700件	15,545件	a

<p>【評価の説明】</p> <p>「貸出利用人数」は、ほぼ目標値どおりでした。「新規登録者数」、「貸出総数」、「来館者数」、「市民一人当たり貸出数」は、目標値には届きませんでした。達成度は90%を超えました。</p> <p>大宮西部図書館工事に伴う臨時休館(39日間)や、図書館システム入れ替えによる全館休館(10日間)の影響が考えられます。ただし、すべての指標で平成26年度実績を上回りました。また、美園図書館が1月から開館しましたが、美園図書館分の実績を除いても、全体的に増加に転じています。</p>
---

さいたま市図書館評価票（平成27年度）

【目標】②	幅広く計画的な資料の収集・保存	【総合評価】	B
<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民のニーズに応えるため、効果的・計画的に資料を収集・保存し、幅広い蔵書を整備します。</li> <li>・美園図書館の開館に向けた蔵書を整備します。</li> <li>・寄贈資料や除籍資料を有効活用します。</li> <li>・電子書籍等の新しいメディアの導入に向けた検討を行います。</li> </ul>			

指 標	平成27年度の目標値	平成27年度の実績	指標別評価
資料回転率	3.00点	2.73点	b
雑誌タイトル数	867タイトル	869タイトル	a
新聞タイトル数	126タイトル	125タイトル	b
所蔵タイトル数（図書）	1,033,000タイトル	1,050,073タイトル	a
蔵書冊数（市民一人当たり）	2.91点	2.89点	b
寄贈資料受入点数	24,400点	22,182点	b

<p>【評価の説明】</p> <p>資料が平均何回貸し出しされたかを示す「資料回転率」（貸出総数／所蔵総数）は、目標値を下回りました。これは貸出総数の目標値を達成することができなかったためです。</p> <p>寄贈資料も含め、幅広く収集したことにより「所蔵タイトル数（図書）」は目標値を上回りました。</p> <p>「蔵書冊数（市民一人当たり）」は、26年度に比較して蔵書は約76,000点増加しましたが、想定した以上に人口が増加し、蔵書の伸びが追いつきませんでした。</p> <p>「寄贈資料受入点数」は、平成26年度に比べ微減となり、目標値には届きませんでした。</p> <p>システムの更新にともない、図書館ホームページで電子書籍の貸出を開始しました。</p>
---

さいたま市図書館評価票（平成27年度）

【目標】③	地域の歴史と文化の保存	【総合評価】	B
<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の情報拠点として行政資料・地域資料を積極的に収集します。また、地域の記録を残す活動を支援します。</li> <li>・地域資料等のデジタル化作業を行います。</li> </ul>			

指 標	平成27年度の目標値	平成27年度の実績	指標別評価
地域・行政資料の蔵書数	136,700点	135,324点	b
地域資料のデジタル化	実施	実施	a

<p>【評価の説明】</p> <p>「地域・行政資料の蔵書数」は、目標値をわずかに下回りましたが、平成26年度より4,114点増加しました。</p> <p>「地域資料のデジタル化」は、利用が見込まれるが現在再入手が困難な資料29点を選び、合計3,567頁のデジタル化を行いました。</p>
--

さいたま市図書館評価票（平成27年度）

【目標】④	ICT（情報通信技術）を活用したサービスの充実	【総合評価】	B
<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年2月のシステム更新にあわせ、図書館ホームページをより見やすく使いやすくします。</li> <li>・外部オンラインデータベースの利用者講習会を開催します。</li> </ul>			

指 標	平成27年度の目標値	平成27年度の実績	指標別評価
ホームページアクセス数	7,047,000回	15,151,910回	a
インターネット端末延利用人数	138,700人	133,871人	b

<p>【評価の説明】</p> <p>「ホームページアクセス数」は、目標値を大きく上回りました。しかし、平成26年度の20,211,423回と比較すると、約25%の減少でした。平成26年度及び27年度は、それまでと比較して大きくアクセス数が増えています。アクセスの状況を調べても、その理由を特定できませんでした。</p> <p>「インターネット端末延利用人数」は、目標値にわずかに及びませんでした。家庭でのインターネット環境の整備やスマートフォンの普及などにより、ニーズが減っているものと考えられます。しかし、平成23年度以降、毎年減少してきたのに対して、平成27年度は、平成26年度の130,672人と比較して、約2%増加しています。</p> <p>図書館ホームページは、平成28年3月のシステムの更新に合わせてリニューアルを行い、新たに自分の読書記録を残せたりお気に入りの資料の保存が出来る機能を追加しました。</p>
--

さいたま市図書館評価票（平成27年度）

【目標】⑤	文化事業の開催	【総合評価】	B
<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講座・講演会・映画会・展示会等を開催し、市民の文化活動・読書活動を支援します。</li> <li>・ 文化事業開催時にアンケートを実施し、市民のアイデアを生かした事業を企画・開催します。</li> </ul>			

指 標	平成27年度の目標値	平成27年度の実績	指標別評価
講座等の実施回数	117回	107回	b
映画会開催回数	107回	91回	b
展示会の開催回数	11回	23回	a

<p>【評価の説明】</p> <p>「講座等の実施回数」は、ビジネス支援講座が減少したこと等により目標値には届きませんでした。</p> <p>「映画会開催回数」は、目標値には届きませんでした。平成26年度の82回と比較して、9回増えました。</p> <p>「展示会の開催回数」は、関係機関との連携事業を強化した結果、目標値を上回りました。</p> <p>文化事業開催時にはアンケートを実施し、いただいたご意見・ご提案をもとに事業の時間配分などの見直しを行いました。</p>
--

さいたま市図書館評価票（平成27年度）

【目標】⑥	あらゆる世代に向けたサービスの充実	【総合評価】	A
<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読書に関する催し物等を実施し、本に親しむ機会を提供します。</li> <li>・テーマ展示を充実させ、読書の楽しさを広く伝えます。</li> <li>・児童・中高校生・社会人・高齢者等、それぞれの世代に向けた本の紹介資料を作成します。</li> <li>・乳幼児から高齢者まで、誰もが利用でき、交流の生まれる市民の広場となるよう努めます。</li> </ul>			

指 標	平成27年度の目標値	平成27年度の実績	指標別評価
テーマ資料展示の実施回数	724回	892回	a
各世代向けの本の紹介資料作成	43点	60点	a

<p>【評価の説明】</p> <p>「テーマ資料展示の実施回数」「各世代向け本の紹介資料作成」は、いずれも目標値を上回りました。</p> <p>「各世代向け本の紹介資料作成」では、新たに『別所沼ゆかりのコーナーのご案内』（別所沼に関する資料紹介）や『あかちゃんがおなかに／お家にやってきました』（子育て支援コーナーの資料紹介）などを作成したことで、目標値を上回りました。</p> <p>中央図書館では、平成26年度に続き中学生高校生による知的書評合戦（ビブリオバトル）を開催し、本に親しむ機会を提供しました。</p>
--

さいたま市図書館評価票（平成27年度）

【目標】⑦	レファレンスサービスの充実	【総合評価】	B
<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レファレンスサービス事例のデータベース化を進めていきます。</li> <li>・パスファインダーやテーマ別ブックリストを作成するとともに、ホームページに掲載します。</li> <li>・内部研修を実施し、また外部の専門的な職員研修に参加して調査技術の向上を図ります。</li> <li>・国立国会図書館や公立図書館、大学図書館、専門機関と連携し、高度な調査・相談にも対応します。</li> </ul>			

指 標	平成27年度の目標値	平成27年度の実績	指標別評価
レファレンス受付件数	127,200件	120,506件	b
レファレンス事例の公開件数（年間）	164件	154件	b
パスファインダー（調べ案内）作成数	5タイトル	12タイトル	a
職員レファレンス研修の開催回数	9回	10回	a

<p>【評価の説明】</p> <p>「レファレンス受付件数」は、目標値には届きませんでした。平成26年度実績の113,450件からは増加しています。レファレンスサービスのPR不足や、利用者がインターネットで情報を得るようになっていくこと等により数値が伸びなかったものと考えます。</p> <p>「レファレンス事例の公開件数」は、目標値並びに平成26年度の実績を下回りました。対象としているレファレンス協同データベースは、国会図書館を始め参加している公共図書館等が登録した参考調査の事例を集めたデータベースです。事例を登録したうえで、登録館以外も見ることができる公開の設定を行いますが、他の図書館の参考となる事例が少なかったことから、公開件数は伸びませんでした。</p> <p>「パスファインダー作成数」は、平成26年度に引き続き作成研修を行った効果があり、目標値を大きく上回りました。</p>
--

さいたま市図書館評価票（平成27年度）

【目標】⑧	地域の課題解決	【総合評価】	A
<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画や産業等の分野に関して、地域特性により必要とされる資料を具体化し収集します。</li> <li>・市の行政機関に対して、業務に関する資料や情報を提供する行政支援サービスを行い、地域の課題解決を支援します。</li> </ul>			

指 標	平成27年度の目標値	平成27年度の実績	指標別評価
行政支援サービスの実施	実施	実施	a

<p>【評価の説明】</p> <p>市の各課から19件の問い合わせを受け、業務に関連する資料の貸出・レファレンスの回答・複写提供を行いました。</p> <p>また、行政事務に役立つ資料・情報を掲載した『行政支援のブックファイル』を作成し、庁内掲示板に掲載しました。</p> <p>行政支援サービスに係る案内や各種申込書を作成し、庁内ライブラリへ登録しました。</p>
---

さいたま市図書館評価票（平成27年度）

【目標】⑨	生活支援サービスの展開	【総合評価】	A
<p>【取組内容】</p> <p>・ビジネス、法律、医療、健康、福祉及び子育てに関する情報の提供等、市民の暮らしに直接関わる分野の情報提供に努め、それぞれの分野の専門機関との連携・協力を図ります。</p>			

指 標	平成27年度の目標値	平成27年度の実績	指標別評価
日常生活での課題解決に関わる分野の情報提供への取組	実施	実施	a

<p>【評価の説明】</p> <p>行事を通じた情報提供への取組としては、中央図書館・桜木図書館でビジネス支援のための相談会・セミナー・講座を開催し、また、桜図書館で食育をテーマとしたおはなし会を開催しました。</p> <p>資料面での情報提供としては、医療情報コーナーや子育て支援コーナーなどで、常設的に市民の暮らしに直接関わる分野の情報提供を行っています。さらに、中央図書館・大宮西部図書館・春野図書館・片柳図書館・岩槻駅東口図書館で、ビジネス支援や医療情報に関する展示を行いました。</p>
--

さいたま市図書館評価票（平成27年度）

【目標】⑩	バリアフリーサービスの充実	【総合評価】	B
<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館の利用に障害がある方へ配慮した、資料や機器・機材の整備・充実に努めます。</li> <li>・大活字本や字幕入り・手話入りの映像資料等の所蔵リストや利用に関する情報を、障害のある方にもホームページ等で利用しやすいように提供します。</li> <li>・活字による読書に障害のある方のために、関係機関・団体と連携を図り、録音図書や点字図書・点訳絵本の作製・貸出、対面朗読などを実施し、きめ細かい図書館サービスを提供します。</li> <li>・来館が困難な方への宅配サービスに関する広報活動を積極的に行います。</li> </ul>			

指 標	平成27年度の目標値	平成27年度の実績	指標別評価
音訳資料・点訳資料貸出数	9,780点	9,066点	b
対面朗読回数、時間数	225回 398時間	262回 482時間50分	a
宅配サービスの貸出数	243点	405点	a

<p>【評価の説明】</p> <p>「音訳資料・点訳資料貸出数」は、目標値を下回りました。これには、利用者自身がインターネットから入手できる音訳資料が増加したこと等が影響していると考えられます。</p> <p>「対面朗読回数、時間数」は、利用者が増加したことにより、ともに目標値を上回りました。</p> <p>「宅配サービスの貸出数」は、登録者が増加したことに加え、積極的にご利用になる利用者が増えたことにより、目標値を大きく上回りました。</p>
--

さいたま市図書館評価票（平成27年度）

【目標】⑪	多文化サービスの充実	【総合評価】	B
<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 様々な言語や文化に対する相互理解を深めるために、外国語資料の収集に努めます。</li> <li>・ ボランティアや関連機関と協働し、日本語以外を母語とする人たちにも、生活に役立つ情報を提供します。</li> <li>・ ボランティアと協働し、多言語でのおはなし会を実施します。</li> </ul>			

指 標	平成27年度の目標値	平成27年度の実績	指標別評価
外国語資料の受入点数	597点	566点	b

<p>【評価の説明】</p> <p>「外国語資料の受入点数」は、目標値を下回りました。外国語資料の受入は、書誌データを購入している日本語資料と異なり、職員が書誌データを作成しなくてはならないため、時間がかかります。今後研修等により速やかに受入れできる体制づくりを検討していく必要があります。</p> <p>ボランティアと協働で行った多言語でのおはなし会は、中央図書館・大宮図書館・武蔵浦和図書館・南浦和図書館の4館で延べ9回実施し、平成26年度と同程度の実績をあげました。</p>
--

さいたま市図書館評価票（平成27年度）

【目標】⑫	子ども読書活動への支援及び学校図書館との連携	【総合評価】	A
<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「さいたま市子ども読書活動推進計画（改訂版）」に基づき、各図書館で、子どもが読書に親しめる環境づくりを進め、「不読者」の割合を小学生2.5%以下、中学生5.5%以下にします。</li> <li>・おはなし会や本に関する催し物等を実施し、本に親しむ機会を提供します。</li> <li>・保護者や保育者・教職員等を対象に読み聞かせや本に関する講座・講演会を開催するとともに、「子どもといっしょに読書タイム」キャンペーンを実施し、家庭での読書の大切さを伝えます。</li> <li>・子ども向けの読書案内を定期的に作成し、子どもと本をつなぐ手助けをします。</li> <li>・学校を対象に、団体貸出サービスの利用促進キャンペーンを実施し、団体貸出サービスを拡大します。</li> <li>・学校図書館支援センターによる教科関連図書の収集・情報提供・貸出を充実させます。</li> <li>・学校図書館のレファレンスサービスに対して支援を行います。</li> <li>・保育園・学校等を対象に読み聞かせや図書館オリエンテーションを実施します。</li> <li>・「さいたま市子ども読書活動推進計画（改訂版）」の見直しを行います。</li> </ul>			

指 標	平成27年度の目標値	平成27年度の実績	指標別評価
小学生の不読者の割合	2.5%以下	1.8%	a
中学生の不読者の割合	5.5%以下	1.3%	a
子ども向け行事開催数	1,235回	1,256回	a
読み聞かせや本に関する講座・講演会の実施	8回	11回	a
子ども向けの資料案内の作成	27回	48回	a
学校訪問・招待の実施回数	139回	279回	a

<p>【評価の説明】</p> <p>「不読者の割合」は、平成17年度から毎年実施している、読書についてのアンケート調査で算出したものです。「不読者の割合」は小学生・中学生ともに目標値を上回り、子どもが読書に親しめる環境づくりを進めてきた成果がうかがえます。</p> <p>「子ども向け行事開催数」は、目標値を上回りました。あかちゃんおはなし会や図書館体験が増加しています。</p> <p>「子ども向けの資料案内の作成」は、武蔵浦和図書館で『新1年生向けブックガイド「こぎだそう！本の海へ」』を、南浦和図書館で『南浦和図書館と同年の本』と題した児童向けの資料案内を、それぞれ新たに作成するなど実績を伸ばした館があり、目標値を大きく上回りました。</p> <p>「さいたま市子ども読書活動推進計画（改訂版）」を見直し、「さいたま市子ども読書活動推進会議」での協議を経て、第三次計画を策定しました。</p>
--

さいたま市図書館評価票（平成27年度）

【目標】⑬	図書館評価と市民意識の反映	【総合評価】	A
<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館の運営状況及びサービスの評価を行い、その結果を市民に公表します。</li> <li>・図書館サービスの充実・向上を図るためアンケート方法を検討し、図書館の利用に関するアンケートを実施します。</li> <li>・図書館協議会を開催して、市民の意見を聴き、図書館サービスを向上させます。</li> </ul>			

指 標	平成27年度の目標値	平成27年度の実績	指標別評価
図書館評価の実施と公表	実施	実施	a
アンケートによる満足度調査の実施と公表	実施	実施	a

<p>【評価の説明】</p> <p>図書館評価については、平成26年度事業を評価の対象とし、図書館協議会の意見を踏まえて報告書としてまとめ、公表しました。</p> <p>図書館来館者を対象としたアンケート調査を、9月18日から27日までの10日間、全24館で実施しました。3,455件の回答があり、調査結果は、1月18日から2月21日まで全館で館内に掲示したほか、ホームページに掲載し公表しました。</p>
---

さいたま市図書館評価票（平成27年度）

【目標】⑭	市民との協働	【総合評価】	B
<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館で活動するボランティアへの支援や、ボランティアと連携した事業活動により、市民との協働を積極的に進めます。</li> <li>・区民まつりをはじめ、地域で開催される催し物等に積極的に参加します。</li> </ul>			

指 標	平成27年度の目標値	平成27年度の実績	指標別評価
ボランティアとの協働事業数	116事業	111事業	b
ボランティアとの協働事業延実施回数	706回	714回	a

<p>【評価の説明】</p> <p>読み聞かせやおはなし会など、各ボランティア団体と協働した事業数は、目標値を下回りましたが、平成26年度の実績からは7事業増加しました。</p> <p>延実施回数は、常時行っているおはなし会の他に「おはなしスタッフ養成講座」（東浦和図書館）や「親子講座 親子で楽しむわらべうた」（大宮西部図書館）などの連続講座を行い、目標値を達成しました。</p>
---

さいたま市図書館評価票（平成27年度）

【目標】⑮	関連機関（公共機関・民間機関・NPO）との連携	【総合評価】	A
<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県立図書館や県内市町村図書館との連携を進め、相互貸借や地域資料等の分担収集・保存等を行います。</li> <li>・国立国会図書館や公立図書館、大学図書館、専門機関との連携により、専門的調査の充実を図ります。</li> <li>・市の関連部局や他の教育・文化・福祉施設と連携した事業を行います。</li> </ul>			

指 標	平成27年度の目標値	平成27年度の実績	指標別評価
連携事業実施機関数	17機関	41機関	a
職場体験の受入件数	86件	91件	a

<p>【評価の説明】</p> <p>連携事業は、シティセールス部の「夢の自転車パネル展示」、南浦和公民館主催講座への講師派遣、埼玉大学生による「食育おはなし会」など新規の機関との連携事業を実施したほか、学校や幼稚園などの地域の施設との連携も進んだため、目標値を大きく上回りました。</p> <p>職場体験は、中学校の「未来（みら）くるワーク体験」のほか、高校生や大学生、教員の実習を受入れたことにより、目標値を達成しました。</p>
--

さいたま市図書館評価票（平成27年度）

【目標】⑯	地域の特色を生かした運営	【総合評価】	A
<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サッカー、鉄道、盆栽、人形等、地域の歴史・特色に関連した資料を活用し、図書の展示や紹介等の情報発信を行います。</li> <li>・地域に関係する団体・機関との連携・協働による事業を行います。</li> </ul>			

指 標	平成27年度の目標値	平成27年度の実績	指標別評価
地域の特色に関連した資料を活用した情報発信	実施	実施	a

<p>【評価の説明】</p> <p>地域の特色に関連した資料の紹介のため、与野図書館の『バラのまちだより』、大宮西部図書館の『Train Library』、北浦和図書館の『読むうなぎ』など、ブックリストを作成・配布しました。</p> <p>その他の情報発信の一例として、大宮図書館では、隣接する博物館の収蔵作品展に合わせたブックリストの配布と関連資料の展示を行いました。また、大宮アルディージャとの連携による「アルディージャ図書館2015」として、アルディージャ関連資料の展示やジェフユナイテッド市原・千葉の試合に合わせて、市原市立中央図書館と交換展示（パンフレット・図書など）を行いました。</p>
--

さいたま市図書館評価票（平成27年度）

【目標】⑰	親しみやすい図書館づくり	【総合評価】	A
<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者への挨拶や、声かけで明るく親しみやすい窓口づくりに努めます。</li> <li>・わかりやすい言葉による丁寧な対応をします。</li> </ul>			

指 標	平成27年度の目標値	平成27年度の実績	指標別評価
「さいたま市図書館の利用に関するアンケート」における満足度	「満足」と「やや満足」で85%	88.3%	a

<p>【評価の説明】</p> <p>「さいたま市図書館の利用に関するアンケート」で、施設や予約のサービス、職員の対応などの5つの項目について「満足・やや満足・やや不満・満足」の4つの選択肢から回答してもらったところ、「満足」と「やや満足」を合わせた結果は、目標値を超え、88.3%となりました。</p> <p>なお5つの項目のうち「職員の対応や説明」については、「満足」と「やや満足」を合わせた結果が96.0%と高い評価でした。</p>
--

さいたま市図書館評価票（平成27年度）

【目標】⑱	職員の資質・能力の向上	【総合評価】	B
<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人材育成を図るため、研修計画を作成し実施します。</li> <li>・職員のスキルアップのため、外部研修にも積極的に参加します。</li> </ul>			

指 標	平成27年度の目標値	平成27年度の実績	指標別評価
内部研修の実施回数（図書館で行われる研修全て・市主催の研修は外部とする）	48回	65回	a
外部研修の派遣件数（図書館以外の全て・市主催の研修を含む）	49件	47件	b

<p>【評価の説明】</p> <p>内部研修としては、中央図書館資料サービス課が主催し、全館を対象として「レファレンス研修」（全9回）、「児童サービス研修」（全4回）などを実施しました。また、各館においても独自に企画した課内研修を行った結果、目標値を上回りました。</p> <p>外部研修の派遣件数は、目標値を2件下回りました。研修の内訳としては、図書館の専門的業務に特化した「参考調査研修会」、「障害者サービス研修会」（埼玉県図書館協会主催）などに加え、市職員のスキルアップのため「コンプライアンス研修」、「シティセールス研修」、「人権問題研修」などに職員を派遣しました。</p>
---

さいたま市図書館評価票（平成27年度）

【目標】⑱	専門的職員の配置	【総合評価】	A
<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図書館サービスの向上を図るために、専門的職員の配置に努めます。</li> <li>・ 司書は専門性を生かし、資料・情報の提供及び紹介などを通じて、市民の高度で多様な要求に適切に応えます。</li> </ul>			

指 標	平成27年度の目標値	平成27年度の実績	指標別評価
専門性の向上につながる研修の受講	実施	実施	a
専門性を生かした適切な資料提供と紹介の実施	実施	実施	a

<p>【評価の説明】</p> <p>「専門性の向上につながる研修の受講」としては、「図書館中級職員研修会」（埼玉県図書館協会主催）や「図書館等職員著作権実務講習会」（文化庁主催）、「児童図書館員養成専門講座」（日本図書館協会主催）、「図書館司書専門講座」（文部科学省主催）、「サピエ研修会」（全国視聴覚障害者情報提供施設協会主催）などを受講しました。</p> <p>「専門性を生かした適切な資料提供と紹介の実施」としては、あるテーマについての資料や情報の調べ方を紹介したパスファインダーや、児童サービス担当職員が選んだ本を紹介した冊子『本は王さま』を作成しました。</p> <p>また、埼玉県の障害者サービス研修会や、さいたま市内の公民館での子育て支援事業、市民向けの読み聞かせボランティア講座などへ、職員が講師として赴き、市民からの要求に専門性を生かして応えました。</p>
--

さいたま市図書館評価票（平成27年度）

【目標】⑳	施設・設備の充実	【総合評価】	A
<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「図書館施設リフレッシュ計画」を策定し、施設の改修のための設計及び調査を実施します。</li> <li>・美園図書館を開館し、円滑な運営を行います。</li> <li>・大宮図書館の移転に向けて準備を行います。</li> <li>・各図書館内を点検し、わかりやすい案内表示を作成する等施設のバリアフリー化に努めます。</li> </ul>			

指 標	平成27年度の目標値	平成27年度の実績	指標別評価
施設・設備の計画的な改修及びバリアフリー化の推進	実施	実施	a
美園図書館の開館準備	実施	実施	a

<p>【評価の説明】</p> <p>春野図書館の中規模修繕の設計や、大宮西部図書館の外部改修工事を行いました。大宮西部図書館の子ども用トイレを洋式化するなど、バリアフリー化にも努めました。</p> <p>美園図書館開館に向けた準備として、約33,000点の資料購入、関係各署との連絡・調整、委託や物品購入の契約、開館記念イベントの企画・広報などを行い、平成28年1月4日に開館しました。</p>
---

さいたま市図書館評価票（平成27年度）

【目標】②	持続的で安定した図書館の運営	【総合評価】	A
<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館専門部会を開催し、図書館サービスの調査研究を行い、問題点や課題を整理し、計画的で円滑な運営を行います。</li> <li>・窓口等業務委託の評価・検証を行い、図書館サービスの充実と向上に努めます。</li> <li>・広告料収入等、新たな財源確保や経費節減の取組を行います。</li> <li>・図書館の管理運営に関して民間力活用の検討を行います。</li> </ul>			

指 標	平成27年度の目標値	平成27年度の実績	指標別評価
業務マニュアルの整備・見直し	実施	実施	a
図書館の管理運営に関わる民間力活用の検討	実施	実施	a
新たな財源確保や経費節減事業の実施	実施	実施	a

<p>【評価の説明】</p> <p>「業務マニュアルの整備・見直し」は、図書館業務システムの入替えに伴い、各種マニュアルを見直し、整備しました。</p> <p>「図書館の管理運営に関わる民間力活用の検討」は、指定管理者制度の導入に向けて条例改正を行いました。</p> <p>「新たな財源確保や経費節減事業の実施」のうち、財源確保については、パンフレットラック（11館）と広告付きマット（7館）の設置及びバナー広告により収入を得ました。このうち、広告付きマットは新たに2館で導入しました。</p> <p>また、経費節減事業については、引き続き雑誌スポンサー事業（4館）を実施しました。</p>
---

さいたま市図書館評価票（平成27年度）

【目標】②	危機管理体制の強化	【総合評価】	A
<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「図書館危機管理対応マニュアル」を基に、市民の安全を守るための危機管理体制を強化します。</li> <li>・防災訓練や研修を通じて職員の危機管理意識を高めます。</li> </ul>			

指 標	平成27年度の目標値	平成27年度の実績	指標別評価
職員の危機管理意識を高める取組	実施	実施	a

<p>【評価の説明】</p> <p>図書館危機管理対応マニュアルの見直しを行い、拠点館では、館内の防災設備などを点検しました。また、中央図書館と拠点館において、各館年2回の防災訓練（消防訓練含む）を実施するとともに、各館で職員・スタッフによる館内巡回を実施し、利用者の安全の確保に努めました。複合施設内で運営している図書館では、施設毎に実施される消防訓練に参加しました。</p> <p>各拠点館毎に、コンプライアンスのミーティングなどを行って職員の危機管理意識を高め、職場内のコンプライアンス遵守を推進しました。</p>
--

## 参考資料（図書館法・図書館の設置及び運営上の望ましい基準）

### （１）図書館法（昭和二十五年四月三十日法律第百十八号）

最終改正：平成二三年一二月一四日法律第一二二号

（運営の状況に関する評価等）

第七条の三 図書館は、当該図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

### （２）図書館の設置及び運営上の望ましい基準

（平成 24 年 12 月 19 日文部科学省告示第 172 号）

#### （二）運営の状況に関する点検及び評価等

- 1 市町村立図書館は、基本的運営方針に基づいた運営がなされることを確保し、その事業の水準の向上を図るため、各年度の図書館サービスその他図書館の運営の状況について、（一）の 2 の目標及び事業計画の達成状況等に関し自ら点検及び評価を行うよう努めなければならない。
- 2 市町村立図書館は、前項の点検及び評価のほか、当該図書館の運営体制の整備の状況に応じ、図書館協議会（法第十四条第一項に規定する図書館協議会をいう。以下同じ。）の活用その他の方法により、学校教育又は社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、図書館の事業に関して学識経験のある者、図書館の利用者、住民その他の関係者・第三者による評価を行うよう努めるものとする。
- 3 市町村立図書館は、前二項の点検及び評価の結果に基づき、当該図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。
- 4 市町村立図書館は、第一項及び第二項の点検及び評価の結果並びに前項の措置の内容について、インターネットその他の高度情報通信ネットワーク（以下「インターネット等」という。）をはじめとした多様な媒体を活用すること等により、積極的に公表するよう努めなければならない。

## さいたま市図書館の運営状況に関する評価実施要項

### (目的)

第1条 この要項は、図書館法（昭和25年法律第118号）第7条の3の規定に基づき実施する、さいたま市図書館（以下「図書館」という。）の運営状況に関する評価（以下「評価」という。）について、必要な事項を定めるものとする。

### (評価の対象)

第2条 評価は、図書館の運営状況について、毎年度行うものとする。

### (目標、指標及び目標値)

第3条 評価にあたっての目標は、別表第1に定めるとおりとする。

2 目標ごとの指標及び指標ごとの目標値は、図書館に設置される図書館評価専門部会が検討し、中央図書館長が定める。

### (評価者)

第4条 評価にあたっては、図書館評価専門部会が、指標の達成状況を点検するとともに、さいたま市図書館協議会の意見を聴取した上で、評価案を作成し、中央図書館長が決定する。

### (評価及び評価の段階)

第5条 目標ごとに各指標の達成状況について指標別評価を行い、その結果を評点として数値化し、評点の平均により当該目標の総合評価を行う。

2 評価の段階は、4段階とし、段階ごとの評価基準は、別表第2に定めるとおりとする。

### (評価票)

第6条 評価の内容及び結果を記録する評価票の様式は、様式第1号に定めるとおりとする。

### (評価結果の公表)

第7条 図書館は、評価の結果をホームページ等を活用して、市民に公表するものとする。

### (評価結果の活用)

第8条 図書館は、評価の結果に基づき、その運営の改善に努めるものとする。

### (庶務)

第9条 評価に関する庶務は、中央図書館資料サービス課において処理する。

### (委任)

第10条 この要項に定めるもののほか、この要項の施行に関し必要な事項は、中央図書館長が別に定める。

### 附 則

この要項は、平成24年11月5日から施行する。

### 附 則

この要項は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成28年4月1日から施行する。

別表第1（第3条関係）

目標
図書館利用の普及とPR及び情報発信の強化
幅広く計画的な資料の収集・保存
地域の歴史と文化の保存
ICT（情報通信技術）を活用したサービスの充実
文化事業の開催
あらゆる世代に向けたサービスの充実
レファレンスサービスの充実
地域の課題解決
生活支援サービスの展開
バリアフリーサービスの充実
多文化サービスの充実
子ども読書活動への支援及び学校図書館との連携
図書館評価と市民意識の反映
市民との協働
関連機関（公共機関・民間機関・NPO）との連携
地域の特色を生かした運営
親しみやすい図書館づくり
職員の資質・能力の向上
専門的職員の配置
施設・設備の充実
持続的で安定した図書館の運営
危機管理体制の強化

別表第2（第5条関係）

指標別評価	評価基準	目標達成率	評点
a	目標値を達成できた	目標値の100%以上	3
b	目標値をほぼ達成できた	目標値の80%以上100%未満	2
c	目標値をあまり達成できなかった	目標値の50%以上80%未満	1
d	目標値を達成できなかった	目標値の50%未満	0

総合評価	評価基準	評点の平均
A	目標を達成できた	2.7以上
B	目標をほぼ達成できた	2.0以上2.7未満
C	目標をあまり達成できなかった	1.0以上2.0未満
D	目標を達成できなかった	1.0未満

さいたま市図書館評価票（平成 年度）

【目標】		【総合評価】	
【取組内容】			

指 標	平成 年度の目標値	平成 年度の実績	指標別 評価

【評価の説明】

# さいたま市図書館ビジョン

さいたま市の図書館が、今後、取り組むべきサービスの目標や指針、管理運営などの基本方針を「さいたま市図書館ビジョン」として平成25年3月に策定しました。

図書館ビジョンでは、さいたま市の図書館を「地域の知の拠点」として位置づけ、その役割を果たしていくため、

知的好奇心に応える図書館

生きる力を支える図書館

市民とともに歩む図書館

誰もが安心して使える図書館

の4つの目標を掲げており、これらを実現していくための22の基本方針を定め、今後、総合振興計画の実施期間に合わせて、この基本方針を達成するための取組を平成25年度から平成32年度までの8年間実施してまいります。

## ■ さいたま市図書館ビジョン ■

### 1 知的好奇心に応える図書館

生涯学習と情報発信の拠点として市民ニーズに応える資料を収集・保存し、さらに情報化に対応したサービスを提供して市民の知的活動を支援します。

### 2 生きる力を支える図書館

誰もが利用しやすいサービスをすすめ、市民が自ら必要な知識・情報・スキルの獲得ができる環境を整備します。

### 3 市民とともに歩む図書館

図書館運営の現状と課題を市民と共有し、市内で活躍する豊富な人材と連携・協働することにより、地域の特色を生かした運営をします。

### 4 誰もが安心して使える図書館

さいたま市図書館ネットワークを活用したサービスを展開するとともに、市民の要求に的確に応えるため、図書館職員の資質・能力の向上を図ります。市民の誰もが安全安心に利用できるよう、施設・設備の充実に努めます。

# さいたま市図書館ビジョンに基づく取組内容(平成 27 年度)

## 1 知的好奇心に応える図書館

### (1) 図書館利用の普及とPR及び情報発信の強化

- 図書館の利用促進のために、広報媒体等を効果的に活用し、PRに努めます。
- 各図書館の広報担当者が発信する情報を一元化し、ホームページやメールマガジン等を活用して図書館サービスについての情報発信に努めます。
- 図書館のサービスや催し物の広報活動を積極的に行い、記者提供資料などを通じて、図書館を利用したことのない人にも図書館の情報が届くようにします。
- 図書館利用を普及するため、図書館見学会やマナーアップキャンペーン等を行います。

### (2) 幅広く計画的な資料の収集・保存

- 市民のニーズに応えるため、効果的・計画的に資料を収集・保存し、幅広い蔵書を整備します。
- 美園図書館の開館に向けた蔵書を整備します。【拡充】
- 寄贈資料や除籍資料を有効活用します。
- 電子書籍等の新しいメディアの導入に向けた検討を行います。【新規】

### (3) 地域の歴史と文化の保存

- 地域の情報拠点として行政資料・地域資料を積極的に収集します。また、地域の記録を残す活動を支援します。
- 地域資料等のデジタル化作業を行います。【新規】

### (4) ICT(情報通信技術)を活用したサービスの充実

- 平成 28 年 2 月のシステム更新にあわせ、図書館ホームページをより見やすく使いやすくします。
- 外部オンラインデータベースの利用者講習会を開催します。

### (5) 文化事業の開催

- 講座・講演会・映画会・展示会等を開催し、市民の文化活動・読書活動を支援します。
- 文化事業開催時にアンケートを実施し、市民のアイデアを生かした事業を企画・開催します。

## 2 生きる力を支える図書館

### (6) あらゆる世代に向けたサービスの充実

- 読書に関する催し物等を実施し、本に親しむ機会を提供します。
- テーマ展示を充実させ、読書の楽しみを広く伝えます。
- 児童・中高校生・社会人・高齢者等、それぞれの世代に向けた本の紹介資料を作成します。
- 乳幼児から高齢者まで、誰もが利用でき、交流の生まれる市民の広場となるよう努めます。

### (7) レファレンスサービスの充実

- レファレンスサービス事例のデータベース化を進めていきます。
- パスファインダーやテーマ別ブックリストを作成するとともに、ホームページに掲載します。
- 内部研修を実施し、また外部の専門的な職員研修に参加して調査技術の向上を図ります。

- 国立国会図書館や公立図書館、大学図書館、専門機関と連携し、高度な調査・相談にも対応します。

### **(8)地域の課題解決**

- 都市計画や産業等の分野に関して、地域特性により必要とされる資料を具体化し収集します。
- 市の行政機関に対して、業務に関する資料や情報を提供する行政支援サービスを行い、地域の課題解決を支援します。【拡充】

### **(9)生活支援サービスの展開**

- ビジネス、法律、医療、健康、福祉及び子育てに関する情報の提供等、市民の暮らしに直接関わる分野の情報提供に努め、それぞれの分野の専門機関との連携・協力を図ります。

### **(10)バリアフリーサービスの充実**

- 図書館の利用に障害がある方へ配慮した、資料や機器・機材の整備・充実に努めます。【拡充】
- 大活字本や字幕入り・手話入りの映像資料等の所蔵リストや利用に関する情報を、障害のある方にもホームページ等で利用しやすいように提供します。
- 活字による読書に障害のある方のために、関係機関・団体と連携を図り、録音図書や点字図書・点訳絵本の作製・貸出、対面朗読などを実施し、きめ細かい図書館サービスを提供します。
- 来館が困難な方への宅配サービスに関する広報活動を積極的に行います。

### **(11)多文化サービスの充実**

- 様々な言語や文化に対する相互理解を深めるために、外国語資料の収集に努めます。【拡充】
- ボランティアや関連機関と協働し、日本語以外を母語とする人たちにも、生活に役立つ情報を提供します。
- ボランティアと協働し、多言語でのおはなし会を実施します。

### **(12)子ども読書活動への支援及び学校図書館との連携**

- 「さいたま市子ども読書活動推進計画(改訂版)」に基づき、各図書館で、子どもが読書に親しめる環境づくりを進め、「不読者」の割合を小学生 2.5%以下、中学生 5.5%以下にします。【拡充】
  - おはなし会や本に関する催し物等を実施し、本に親しむ機会を提供します。
  - 保護者や保育者・教職員等を対象に読み聞かせや本に関する講座・講演会を開催するとともに、「子どもといっしょに読書タイム」キャンペーンを実施し、家庭での読書の大切さを伝えます。
  - 子ども向けの読書案内を定期的に作成し、子どもと本をつなぐ手助けをします。
  - 学校を対象に、団体貸出サービスの利用促進キャンペーンを実施し、団体貸出サービスを拡大します。
- 【新規】
- 学校図書館支援センターによる教科関連図書の収集・情報提供・貸出を充実させます。
  - 学校図書館のレファレンスサービスに対して支援を行います。
  - 保育園・学校等を対象に読み聞かせや図書館オリエンテーションを実施します。
  - 「さいたま市子ども読書活動推進計画(改訂版)」の見直しを行います。【拡充】

### 3 市民とともに歩む図書館

#### (13) 図書館評価と市民意識の反映

- 図書館の運営状況及びサービスの評価を行い、その結果を市民に公表します。
- 図書館サービスの充実・向上を図るためアンケート方法を検討し、図書館の利用に関するアンケートを実施します。
- 図書館協議会を開催して、市民の意見を聴き、図書館サービスを向上させます。

#### (14) 市民との協働

- 図書館で活動するボランティアへの支援や、ボランティアと連携した事業活動により、市民との協働を積極的に進めます。
- 区民まつりをはじめ、地域で開催される催し物等に積極的に参加します。

#### (15) 関連機関(公共機関・民間機関・NPO)との連携

- 県立図書館や県内市町村立図書館との連携を進め、相互貸借や地域資料等の分担収集・保存等を行います。
  - 国立国会図書館や公立図書館、大学図書館、専門機関との連携により、専門的調査の充実を図ります。
- 【拡充】
- 市の関連部局や他の教育・文化・福祉施設と連携した事業を行います。

#### (16) 地域の特色を生かした運営

- サッカー、鉄道、盆栽、人形等、地域の歴史・特色に関連した資料を活用し、図書の展示や紹介等の情報発信を行います。
- 地域に関係する団体・機関との連携・協働による事業を行います。

### 4 誰もが安心して使える図書館

#### (17) 親しみやすい図書館づくり

- 利用者への挨拶や、声かけで明るく親しみやすい窓口づくりに努めます。
- わかりやすい言葉による丁寧な対応をします。

#### (18) 職員の資質・能力の向上

- 人材育成を図るため、研修計画を作成し実施します。
- 職員のスキルアップのため、外部研修にも積極的に参加します。

#### (19) 専門的職員の配置

- 図書館サービスの向上を図るために、専門的職員の配置に努めます。
- 司書は専門性を生かし、資料・情報の提供及び紹介などを通じて、市民の高度で多様な要求に適切に応えます。

#### (20) 施設・設備の充実

- 「図書館施設リフレッシュ計画」を策定し、施設の改修のための設計及び調査を実施します。
- 美園図書館を開館し、円滑な運営を行います。【新規】

- 大宮図書館の移転に向けて準備を行います。【新規】
- 各図書館内を点検し、わかりやすい案内表示を作成する等施設のバリアフリー化に努めます。

#### **(21) 持続的で安定した図書館の運営**

- 図書館専門部会を開催し、図書館サービスの調査研究を行い、問題点や課題を整理し、計画的で円滑な運営を行います。
- 窓口等業務委託の評価・検証を行い、図書館サービスの充実と向上に努めます。
- 広告料収入等、新たな財源確保や経費節減の取組を行います。【拡充】
- 図書館の管理運営に関して民間力活用の検討を行います。

#### **(22) 危機管理体制の強化**

- 「図書館危機管理対応マニュアル」を基に、利用者の安全確保のため危機管理体制を強化します。
- 防災訓練や研修を通じて職員の危機管理意識を高めます。



平成28年度 さいたま市図書館評価 報告書

(平成27年度事業対象)

平成28年11月

さいたま市立中央図書館

〒330-0055

さいたま市浦和区東高砂町11-1 (コムナーレ8階)

電話048-871-2100